

企画展「つくるハニワ、かざるハニワ —新発見の埴輪製作遺跡と古墳群—」の開催について

教育部文化財保護課赤堀歴史民俗資料館

昨年6月、市内で初めて発見された埴輪製作遺跡と隣接する古墳群の企画展を開催します。埴輪製作遺跡は、埴輪製作の工程が一体となって発見された県内唯一の遺跡です。

1 期 間 令和7年10月10日（金）から12月21日（日）まで
時間は午前9時から午後5時まで（午後4時30分最終入場）

2 会 場 赤堀歴史民俗資料館（西久保町二丁目98番地）

3 実施の経緯

昨年6月に市内下触町の石山南遺跡において、古墳時代の埴輪の材料となる粘土を採る粘土採掘坑、埴輪を作る工房、埴輪を焼く埴輪窯が発見されました。埴輪製作遺跡の発見は市内初で、埴輪製作の工程が一体となって発見された例は県内でも初めてです。さらに埴輪だけでなく、土器を製作していることも明らかとなっています。

また、平成27年度に石山南古墳群の発掘調査で出土した人物埴輪が、84年の時を経て東京国立博物館所蔵埴輪と接合したことで、スマートな笑顔で人気の「鍬を担ぐ男子」の埴輪の出土古墳が明らかにされたストーリーとともに展示します。これらの埴輪は、昨年、文化庁が開催した「発掘された日本列島2024」に展示され注目を集めました。全国の会場で展示された埴輪が企画展で再び集合するとともに、本市2例目となる「見返り鹿」の埴輪も復元された姿で初公開します。

4 内容

企画展では、新発見の埴輪製作遺跡と隣接して多くの埴輪が出土した古墳群の出土資料を約100点展示します。

5 関連事業

	歴史文化講座	体験事業
内容	古墳・埴輪研究の第一人者や、発掘調査担当者を講師として、企画展の内容をより深く学べる講座を開催（全4回）	埴輪製作遺跡をテーマとした企画展と連動して、埴輪作り体験を開催（全1回）
期日	令和7年10月12日（日） 11月9日（日） 11月23日（日） 12月14日（日）	令和7年10月26日（日）
時間	午後1時30分から午後3時	午前9時から12時
会場	赤堀公民館 （西久保町二丁目81番地）	赤堀歴史民俗資料館 （西久保町二丁目98番地）
定員	100人（先着順）	15人（先着順）
対象	どなたでも参加可能	小学校1年生以上 小学校5年生以下は保護者同伴
参加費	無料	650円（材料代）
申込方法	10月8日（水）から専用ホームページ、電話、直接来館にて受付開始	

さらに、赤堀小学校との連携事業として、赤堀小学校6年生の児童が製作したオリジナルハニワを展示します。来館者には、児童が製作したミニハニワをプレゼントします。（なくなり次第終了）

問い合わせ先 赤堀歴史民俗資料館 川道 TEL0270-63-0030